

ティー・ライトブラインド

# T-Light® Blind



二段ブラインド方式による「省エネルギー」と「快適な光環境」の両立  
The double blind system saves energy while creating a comfortable light environment at the same time

## 1 採光と遮光を兼ね備えた一体型ブラインド

One integral blind combines both intake and shielding daylight

上部の採光部と下部の遮光部で構成された一体型のブラインドです

## 2 変化する太陽高度の光を安定して部屋の奥まで導光

While the sun changes its position throughout the day, the specially formed blades guide a steady beam of light deep into the room  
上部採光部の独自形状スラット（はね）及び鏡面反射により、太陽高度に依存せずスラット角度を動かすことなく、適切に部屋の奥まで光を導きます

## 3 電気工事は不要 通常の窓面に設置可能 既設との入替可能

No need for installing electric appliances. Can be installed on any normal window surface. Can be installed as a replacement for ordinary blinds  
独自形状スラット（はね）の角度は太陽高度に依存せず一定なので、電動機能は不要で電気工事は必要ありません。コストを抑えての導入が可能です

## 4 照明エネルギーの削減に貢献

Contributes to save energy by reducing the use of electric lighting

昼光利用をすることで、照明エネルギーを削減し、省エネルギー効果があります

## 5 自然光導入による快適性と屋外とのつながりによる開放感

Having the comfort of natural daylight while maintaining an open and unobstructed view

自然光の移り変わりを感じ、採光部越しに屋外の景色を見ることが可能で、開放感があります



□評価項目	□特に重視したデザイン視点	□評価項目に対する設計者のデザイン意図			□自己評価欄		
		普通	優れている	卓越している	普通	優れている	卓越している
A.感性軸 (造形) Form	01審美感	☆	○	○	○	○	2
	02調和性	○	○	○	○	○	1
	03独創性	☆	○	○	○	○	2
	04象徴性	○	○	○	○	○	1
	05完成度	☆	○	○	○	○	2
B.機能軸 (技術) Technology	06機能性	☆	○	○	○	○	2
	07効率性	☆	○	○	○	○	2
	08利便性	○	○	○	○	○	1
	09安全性	☆	○	○	○	○	2
C.社会軸 (環境) Environment	10先導性	☆	○	○	○	○	2
	11環境負荷	☆	○	○	○	○	2
	12資源消費	☆	○	○	○	○	2
	13地域環境性	○	○	○	○	○	1
	14エネルギー性	☆	○	○	○	○	2
D.経済軸 (LCC) Life Cycle Cost	15先進性	☆	○	○	○	○	2
	16メンテナンスコスト	○	○	○	○	○	1
	17ランニングコスト	☆	○	○	○	○	2
	18維持管理	☆	○	○	○	○	2
19耐久性	○	○	○	○	○	1	
20 L.C.C	○	○	○	○	○	1	

## 概要

## 解説・機能性

## 評価表

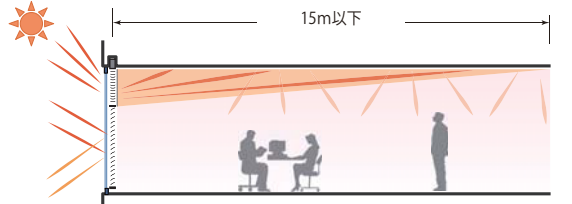
## 社会的・経済性

## 採光と遮光の一体型ブラインド



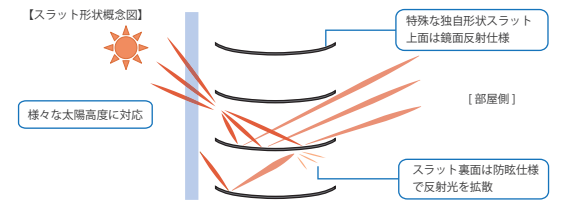
## 採光の仕組みと適用範囲

ブラインド上部の採光部によって光を部屋奥の天井面まで導き、更に天井面から室内空間への光の反射により室内を明るく保つことができます。同時に、下部の一般部では状況に応じて遮光ができるので眩しさを感じることがありません。



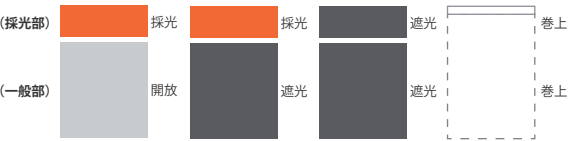
## 独自形状の採光スラット（はね）と表面仕上

採光部のスラットは一般ブラインドのスラットと違い、特殊な独自形状（2017-122803 特許出願中）です。高い太陽高度でも低い太陽高度でもスラット角度を動かすことなく適切に部屋の奥まで光を導きます。また、裏面には防眩対策を施し、眩しさを低減しています。東西面や、朝夕の太陽高度が水平に近い場合などはスラット角度の微調整により、状況に応じた最適化も可能です。

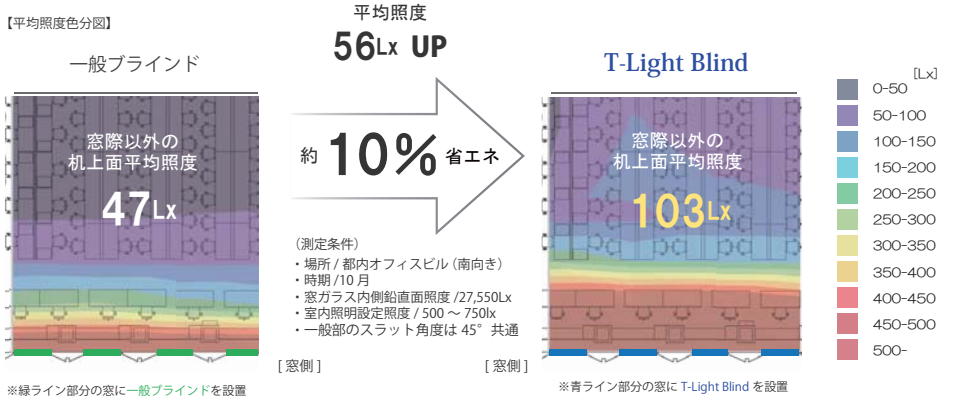


## 採光部と一般部がそれぞれ独立で調整が可能

採光部と一般部のブラインドはそれぞれでスラット角度調整が可能です。採光部と一般部スラットを閉じて暗転したり、一般部だけを巻き上げてより開放的にするなど、様々な状況（時間、季節）に対応できます。



T-Light Blind を実際の執務空間に設置し照度を実測した結果、一般ブラインドを設置した場合と比べて、約 10% の省エネ効果があることを確認しました。下図は、オフィス平面図の上に実測した机上平均照度を色分けし、一般ブラインドと T-Light Blind とを比較したものです。



※測定結果は実測値であり商品の性能を保証するものではありません。